

第4回島根県立大学教育研究評議会議事要旨

(平成19年度 第4回)

- ・日時 平成19年6月27日(水) 15:00～15:50
- ・場所 本部棟2階 会議室2
- ・出席者 宇野重昭学長、今岡日出紀副学長、大橋敏博学部長、村井洋教務部長、別枝行夫学生生活部長、小林博マテリアルセンター長、堀内好浩キャリアセンター長、福間亮平事務局長
- ・欠席者 井上治 NEARセンター副センター長、(以上欠席届)

《審議事項》

(1) 第3回教育研究評議会の議事要旨(案)の確認について

議事要旨(案)について承認された。

(2) 学生の退学について

事務局から、2名の学生の退学について資料により説明があり、教育研究評議会は教授会決定を承認した。

《報告事項》

(1) 学生の除籍について

事務局から、除籍処分となった1名の学生について資料により、報告があった。

(2) 島根県立大学北東アジア地域研究センター客員研究員の任命について

事務局から、島根県立大学北東アジア地域研究センター客員研究員受入れの選考結果について資料により説明があり、教育研究評議会は、運営会議の選考結果を承認した。

(3) 島根県立大学北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れ決定について

事務局から、島根県立北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れ決定について資料により運営会議の議を経て登録され決定した旨報告があった。

(4) 松江市と公立大学法人島根県立大学との包括連携協定について

事務局から、松江市と公立大学法人島根県立大学との包括連携協定について資料により10月の協定締結に向け松江キャンパスが中心となり松江市と協議を行っている旨報告があった。

(5) その他

◆図書館関係の問題について

メディアセンター長から、10月上旬からの3キャンパス間の図書館相互利用を目指して、3キャンパス間で図書館連絡会議を早急に立ち上げ検討していく旨説明があった。また、他の図書館との連携についても松江・出雲キャンパスで具体的な話があるため、図書館連絡会議で検討し、次回の教育研究評議会で示す旨説明があった。

◆大学院改革について

事務局から、大学院改革について学長と協議を行っており、7月の教育研究評議会で大きな方針の了解を得たい旨説明があった。